

特別上映会 6月9日(土) 14時セッション杉並ホール

包丁の音、湯気の匂い……。
時を超え、愛を届けてくれたのは、
母が遺した料理のレシピ。

まるごと
台湾フェア
6/9

原作者 一青妙さん
舞台挨拶&トークショー

これは台湾と日本を故郷とする、一青妙、一青窈 姉妹の家族の物語

ママ、ごはんはまだ？

木南晴夏

呉朋奉 藤本泉 甲本雅裕
仁科貴 今拓哉 広澤草 一青妙 春風亭昇太 河合美智子

原作：一青妙「私の箱子」「ママ、ごはんまだ？」(講談社刊) 主題歌：一青窈「空音」

監督・脚本：白羽弥仁

製作：映画「ママ、ごはんまだ？」製作委員会 製作：嶋田章、小谷晃一 プロデューサー：高瀬博行、星野晴美 企画協力：一青妙

撮影：内藤光雄(J.S.C.) 照明：中瀬岳士(JSL) 録音：渡辺文彦 美術：尾関隆生 音楽：尾形武 編集：渋谷謙一
衣裳：岡本紅子 メイク：花々木葉 音響効果：野崎博樹 助監督：高倉隆一 台湾ロケコーディネート：佐藤裕
協力：辻調理師専門学校、チャイナ エアライン 特別協力：石川県、金沢市、中能登町、台南市(台湾) 協賛：のり共栄信用金庫 後援：北陸新聞社、テレビ金沢、北陸放送
委文化庁文化芸術振興費補助金

制作・配給：アイエス・フィールド 2016年/日本映画 合同/ビスタサイズ/5.1ch. ©一青妙/講談社 ©2016「ママ、ごはんまだ？」製作委員会

www.mama-gohanmada.com

中能登町町制10周年記念事業

第64回
サン・セバスチャン
国際映画祭
キュリナリ部門
正式出品作品



13:30 開場 14:00 開演 17:00 終演(予定) 【全席自由席】

前売券 500円 (当日 700円) 高校生以下 300円 (500円)

杉並区役所 1F コミュかるショップにて販売中

主催・問合せ 杉並区交流協会 Tel. 03-5378-8833

共催 杉並区 後援 杉並区教育委員会 台北駐日経済文化代表処

私たちには、いつでも母の料理があった。

台湾人の父と日本人の母、可愛い妹と共に、家族四人で暮らした懐かしい家。その家を取り壊す時、見つけた赤い木箱。中にあったのは、亡き母の台湾料理のレシピ帳。妙の心に思い出があふれ出す…。

一青妙によるエッセイ「私の箱子」「ママ、ごはんまだ?」(講談社刊)を基に、心温まるヒューマンドラマが誕生した。本作が描き出すのは、料理を通して見えてくる、母から娘たちへの愛、そして家族の絆。そしてそれは、一青妙、一青窈姉妹の家族の物語。



主人公・妙を演じるのは、多くの映画やドラマで活躍する実力派、木南晴夏(『20世紀少年』『百年の時計』)。その妹・窈に、期待の若手女優、『アオハライド』『神戸在住』の藤本泉。母・かつ枝には、演技派、河合美智子。監督は『能登の花ヨメ』『神戸在住』の白羽弥仁。台湾や、一青家ゆかりの中能登町などのロケを敢行、街の喧騒や人情が生き生きと描写される。また、辻調グループ監修による、母・かつ枝の活気に満ちた料理シーンは見どころの一つ。食欲をそそられる、台湾家庭料理の数々もまた、映画の“出演者”だ。さらには、一青窈が映画のために書き下ろした主題歌「空音」が、原作者である姉・妙との絆を見せる。



辛い時にも幸せな時にも、心を込めて料理を作り、料理を囲む。それは、家族が、繋がること。そんな原点に立ち返らせてくれる映画『ママ、ごはんまだ?』が、心を優しく包み込む。

原作:一青妙「私の箱子」「ママ、ごはんまだ?」(講談社刊) 主題歌:一青窈「空音」
監督・脚本:白羽弥仁
出演:木南晴夏、呉朋奉、藤本泉、甲本雅裕、仁科貴、今拓哉、広澤草、一青妙、春風亭昇太、河合美智子
協力:辻調理師専門学校、チャイナ エアライン 特別協力:石川県、金沢市、中能登町、台南市(台湾)
協賛:のと共栄信用金庫 後援:北國新聞社、テレビ金沢、北陸放送
文化庁文化芸術振興費補助金
制作・配給:アイエス・フィールド 2016年/日本・台湾 合作/ビスタサイズ/5.1ch ©一青妙/講談社 ©2016「ママ、ごはんまだ?」製作委員会

中能登町町制10周年記念事業 www.mama-gohanmada.com 



6月9日(土) 『まるごと台湾フェア』
セッション杉並展示室・中庭 台湾の物産販売・展示ほか 10:00~